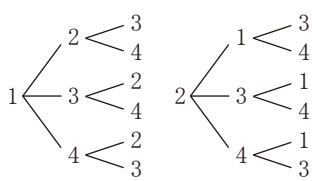
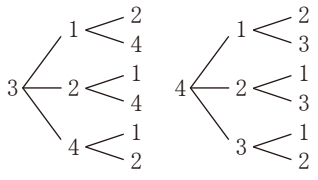


(1)	樹形図		
			
		24	通り
(2)	①	12	通り
	②	5	通り
(3)	①	6	通り
	②	8	通り
(4)	①	6	通り
	②	8	通り

[解説]

(2) ①目の和が3の倍数になるのは、目の和が3, 6, 9, 12のとき。

和が3のとき	和が6のとき	和が9のとき	和が12のとき
大 1 2 小 2 1	大 1 2 3 4 5 小 5 4 3 2 1	大 3 4 5 6 小 6 5 4 3	大 6 小 6

よって、12通り

②目の積が8の倍数になるのは、目の積が8, 16, 24のとき。

積が8のとき	積が16のとき	積が24のとき
大 2 4 小 4 2	大 4 小 4	大 4 6 小 6 4

よって、5通り

(3) ①AからBへは2通り、BからCへは3通りの経路があるので、求める経路は、積の法則より、

$$2 \times 3 = 6, \quad 6 \text{通り}$$

②AからBへは4通り、BからCへは2通りの経路があるので、求める経路は、積の法則より、

$$4 \times 2 = 8, \quad 8 \text{通り}$$

(4) ①AからBを通過してDへ行く経路は、積の法則より、

$$2 \times 3 = 6, \quad 6 \text{通り}$$

②AからCを通過してDへ行く経路は、積の法則より、

$$1 \times 2 = 2, \quad 2 \text{通り}$$

よって、求める経路は、和の法則より、

$$6 + 2 = 8, \quad 8 \text{通り}$$